

キャラクター名
ミオ・アイリーン・ローズフィールド

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ウロボロス		ワークス	防衛隊員	カヴァー	
オプション			年齢	22	性別	女性
覚醒	素体	衝動	憎悪	初期侵食率	43	%
出自			経験	邂逅		

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	10
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	10
精神	2	0	0			2	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃	6	3	RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	2	1	調達		
運転:	2		芸術:	2		知識:			情報: 軍事	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
レッドテンバスト	射撃	4r+9		22+1d		攻撃力: 22+1d10
LANCE(破壊用)		0		40		財閥援助 cost3

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ギランティプラス	
思い出の一品	
海軍に居る妹ってコネ	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
財閥援助	P	N		
REC; アメリア=ブルーリッジ	P 有為	N 隔意		
SASの同胞たる隊員諸兄弟姉妹	P	N 嫌悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 残り財産P: 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ: ウロ	3	2	mj			シンド		
効果: C-Lv								
原初赤; 零距离射撃	1	3	mj	至近	単体	射撃		
効果: 同エンを可能とする 判定+LvD								
混色の氾濫	2	2	mj		範囲(選択)			
効果: 範囲変更								
巨匠の記憶	2	2	mj					
効果: 《運転》《芸術》《知識》《情報》								
水晶の剣	3	4	mj					
効果: 攻撃力Lv*2 1シナ3回								
原初白: 時間凍結	1	7	int			基+3	80	
効果: 即座に行動、HP20を消費								
原初黒; ポルガイ	1	6	min			基+3	100	
効果: 武器を破壊しシーン攻撃力+武器								
原初虚: 夜魔の領域	1	22	オート			基+3	120	
効果: 行動値0となって再行動								
memory	★							
効果: SASの諸兄弟姉妹との記憶								
万能器具	★							
効果: 何でも作り出すぞ								
壁抜け	★							
効果:								
闇夜の烏	★							
効果: 影をスイスイ								
効果:								

「Who Dares Wins(挑む者に勝利あり)！」
 「行くぞ諸君、アタシの後に付いてこい！」
 イギリス陸軍、特殊空挺部隊、通称"SAS"で知られるこの部隊の若き俊英として一目おかれる存在であった。
 UGNイギリス支部と英陸軍の共同作戦において先陣を切る事、もはや数える事能わず。
 彼女たち空挺部隊が敵戦力の後方へ強襲し、エージェントチームや正規軍がこれを橋頭堡として殴りこむというやりくちである。
 この戦い方から軍とUGNにおける彼女のコードはパスファインダー(先駆者) あるいは同名のコードを避けるためパスファインダー-30として知られている
 対テロ戦争としてアフリカ・中東での紛争にも参戦しており、命のやり取りには非情にして冷淡

敵勢力から彼女に与えられた識別名は"ブルージェット"天へと放たれる蒼き稲妻のことである。
 その勲功により単なる一兵卒から下士官へと地位は上がってきているが、現場を至上とする合理主義者である。

『ナイトオウル』へは彼女の経歴を鑑みた上官が武官留学と、多国籍軍への参加経験を積ませる為に派遣を決定した。
 彼女に求められているのは戦略的視野ではなく、与えられた戦術目標をクリアするかの現場指揮官としての能力である。

とある蓄薇園の主が気まぐれに情を交わしたことによって作られた命の一つ。
 母、アイリーンから女手一つで育てられたため、苦勞させないために軍に入った。
 手っ取り早く金を稼ぐ必要があった少女は、戦場の血を吸うほどに殺しの精度が上がっていった。

紆余曲折の末に英陸軍に入隊、特殊部隊SASの若き俊英と目されている。
 Warrant Officer Class 2(2等准尉)として、最初に敵地に突入し敵の"重心"へと最大火力を投入するための戦術級のエージェントとして見られている